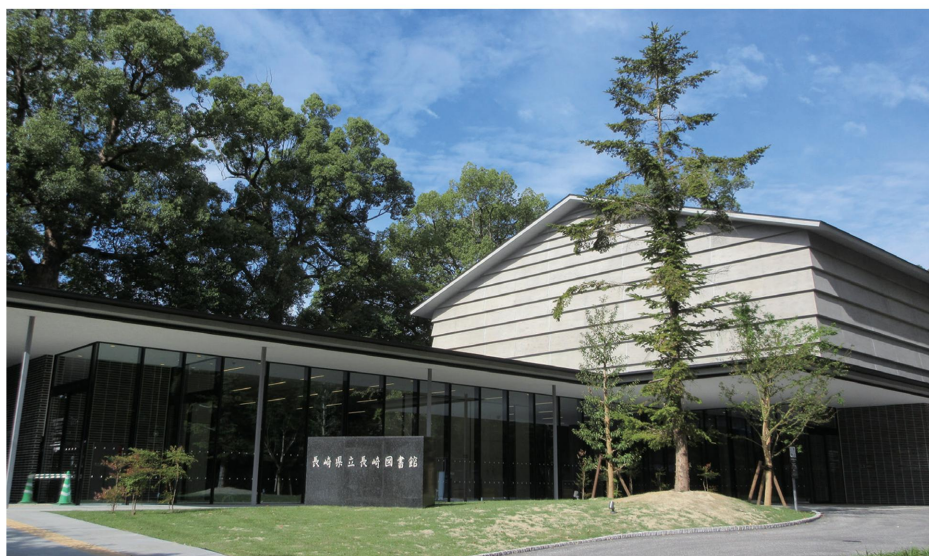


長崎県立長崎図書館郷土資料センター

「ふるさと長崎」を学べる

Nagasaki topics



令和4(2022)年3月27日に開館した長崎県立長崎図書館郷土資料センター

令和4(2022)年3月27日、長崎市立山に長崎県立長崎図書館郷土資料センターが開館しました。

県立長崎図書館は、令和元(2019)年10月5日、大村市に一体型図書館「ミライon図書館」として開館しましたが、郷土資料センターは県立長崎図書館の郷土資料部門の図書館です。

ここでは、長崎に関する郷土資料(地域資料)を集めています。長崎県出身の作家や長崎を舞台にした小説・随想などの「長崎ゆかりの文学」関連資料、明治期以降の郷土の新聞などがあり、「ふるさと長崎」について学ぶことができます。

また、文学・歴史・原爆などの分野と年代別(小学生・中学生・高校生・一般向け)に分けた「郷土学習セット」を各学校での学習や朝の読書活動などに活用することもできます。

郷土資料センターでは、大村市にあるミライon図書館の資料の受取や返却ができたり、集会・研修室では、ミライon図書館のイベントを実施したりする「ミライonサテライト」としての機能もあります。

このほか、歴史的文化的価値を有すると認められる県の公文書のうち、現用でなくなった文書(歴史的文書)等の閲覧等ができる「長崎県公文書コーナー」を併設しています。



郷土学習セット



閲覧室



集会・研修室(最大156名収容可能) (提供:県生涯学習課)